

平成 27 年 4 月 8 日

中央労働災害防止協会
教育推進部長 角元利彦
【照会・取材対応】
総務部 上席専門役 間宮直樹
(電話) 03-3452-6542 (FAX) 03-3452-9225
E-mail koho@jisha.or.jp

調査研究結果報告

平成 26 年度労働災害防止対策補助事業

熱中症予防対策のための リスクアセスメントマニュアルほか 研究成果まとまる

中央労働災害防止協会（中災防）では、平成 26 年度に下記のとおり、調査研究事業を行いました。この度その結果がまとまりましたので、別添のとおり公表いたします。

当協会では、これらの結果を活用して、今後、産業界において安全衛生活動が活発に実施されるよう、一層の普及促進を図っていきます。

調査研究結果の全文は当協会ホームページの「調査・研究」のページに掲載しています。（<http://www.jisha.or.jp/research/report/index.html>）

記

- (1) 熱中症予防対策のためのリスクアセスメントマニュアル
- (2) 安全な職場づくりのためのコミュニケーション事例集
- (3) 化学設備等における非定常作業の安全（平成 27 年 2 月 6 日公表済み）

* なお、平成 27 年度の調査研究テーマは次の 2 件を予定しています。

- ①非定常作業における安全衛生対策に関する調査研究（自動生産システム：自動車）
- ②社会福祉施設における安全衛生対策に関する調査研究

JISHA 中災防

（注）中災防は、昭和 39 年に労働災害防止団体法に基づき設立された団体で、事業主の自主的な労働災害防止活動を支援するため、企業の人材の育成、安全衛生の専門技術の提供および最新安全衛生情報の提供などの安全衛生に関する総合的な事業を行っています。

会 長：榊 原定 征（日本経済団体連合会会長）

理事長：関 澤 秀 哲

(1) 熱中症予防対策のためのリスクアセスメントマニュアル

平成 25 年度を初年度として厚生労働省が示している第 12 次労働災害防止計画において「メンタルヘルス、腰痛、熱中症等の労働衛生分野についてもマニュアル等の整備を進め、リスクアセスメントの実施を促進する。」とされていることに対応して、主に製造業における暑熱環境の実態や対策を調査し、それらの結果を踏まえながら、熱中症の基礎知識、暑熱作業に関するリスクアセスメントの考え方、事例等をまとめた。



マニュアルの表紙

■暑熱作業に関するリスクアセスメントのポイント

マニュアルでは、いくつかの重要なかつレベル分けが可能な要因に注目してリスクを見積り、全体のリスクを評価している。リスクの見積りは次の手順で行う。(事例は表参照)。

- ①暑熱環境のリスク (EL) の見積り
- ②作業強度のリスク (ML) の見積り
- ③衣服・装備のリスク (IL) の見積り
- ④作業強度と衣服・装備のリスクの見積り
- ⑤総合リスク (RL) の評価
- ⑥残留リスクの修正

また、リスク要因ごとのリスク低減措置について解説し、残留リスクへの対応については、個人差への配慮も含めた方法について記載している。

①リスクアセスメント記録表

実施日	2014年7月21日(水)	実施者	
作業場名	鋳造工場1号溶解炉前	作業内容	灰上げ作業
場所	国内	発熱源	溶解炉
服装	不燃性作業着	天候	はれ

WBGT計 メーカー: _____ 型番: _____

WBGT値	29.5	暑熱環境レベル			
気温	34.4℃	EL.1	EL.2	EL.3	EL.4
黒球温度	42.9℃				
相対湿度	31.7%			○	

2. 作業強度のレベル

ML.1	ML.2	ML.3	ML.4	ML.5
	○			

4. 作業強度、衣服・装備のレベル

	ML.1	ML.2	ML.3	ML.4	ML.5
IL.1	1	1	2	3	4
IL.2	1	2	3	4	5
IL.3	2	(3)	4	5	5
IL.4	3	4	5	5	5
IL.5	5	5	5	5	5

3. 衣服・装備レベル

IL.1	IL.2	IL.3	IL.4	IL.5
		○		

4. 暑熱環境レベルと作業強度、衣服・装備レベルによる評価

	EL.1	EL.2	EL.3	EL.4
1	I	I	II	III
2	I	II	III	IV
3	II	III	(IV)	V
4	III	IV	V	V
5	V	V	V	V

5. 総合リスク評価時の考慮要素の有無
以下に該当するものがあれば○を付ける

有無	考慮要素
	暑熱な作業を直前の1週間以上実施していない
	1時間を超える連続作業で、作業者が自らの判断で小休止を取ることができない
	職場に水分・塩分(ナトリウム)が準備されていない

6. 総合リスク評価
5に1つでも○があれば、4のレベルを1段階上げる

リスクレベル	IV
--------	----

7. リスク低減策
水分・塩分を自由に摂取できるようにしている
こまめに休憩を取るようにしている

表 リスクアセスメントの事例

(2) 安全な職場づくりのためのコミュニケーション事例集

安全な職場づくりに欠かせない“コミュニケーション”をキーワードに、さまざまな業界の事例を集めた。

■コミュニケーションのポイント

事例集の作成を通して見えてきた成功の秘訣は、

- ①管理者が手間ひまをかけ、心配りをしていること。
 - ②管理者が現場の目線に降りていること。
 - ③コミュニケーションを簡単にできると考えないこと。
 - ④コミュニケーションを見える化すること。
 - ⑤コミュニケーションできてよかったと現場に思わせる工夫をすること。
- などがあげられる。

■目次

【教育するとき】

事例 1 安全マン活動

事例 2 社長自らが教育

【安全衛生活動をするとき】

事例 3 WEB を活用した情報の共有化と
双方向コミュニケーション

事例 4 過去トラ・サポート (写真1)

事例 5 これ 何?! 活動

【意見を聞くととき】

事例 6 安全専念タイム

事例 7 職場のコミュニケーションガイドブック

事例 8 やわらかい会議

事例 9 組織風土アンケート

【評価するとき】

事例 10 選ばれ続ける仕事賞

事例 11 誰でも参加できる審査会

【日常業務の中で】

事例 12 日々起承転結 PDCA 活動

事例 13 キーマンを見つける

事例 14 GOOD&NEW/ハイタッチ朝礼

事例 15 おかずを持ち寄って昼食 (写真2)



事例集の表紙

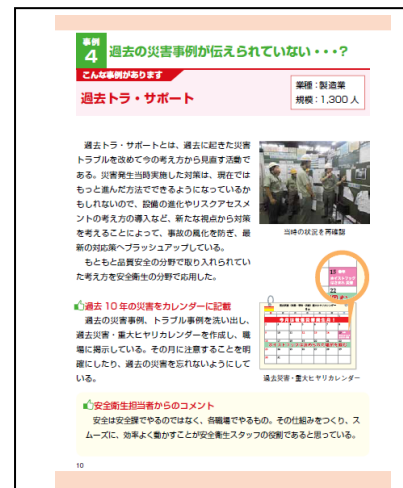


写真1 過去トラ・サポート



写真2 おかずを持ち寄って昼食